

こらぼよ

“こらぼーど”とは
Collaboration
コラボレーション
(共同・協働)と
~しようよの組合せ

みんなで
男女共同参画社会実現
に向けて活動しようよ

第45号 2018・夏



—* 男女共同参画記念講演会の感想 (6/23 教育センター) *—

大切な人 自分 生き方 あなたと私のこれからの人生

～仕事(含家事・育児・介護)と生活のバランスを取るために～

講師 ジャーナリスト、ウイミンズ・メッセージズ編集長 高嶋 紀子さん



6/23 の講演会に参加しました。現在日本で働くことの実現や働く側の意識について、また 2016 (平成 28) 年度三木市男女共同参画に関する市

民意調査の結果も踏まえつつ、わかりやすくお話してくださいました。私は、以下の2つのことが印象に残りました。

まずひとつ目は、三木市男女共同参画に関する市民意識調査の結果と、それを受けての高嶋さんのご提案に関してです。

女性、男性それぞれが「つらい」と感じる最多の理由として、女性は「家事、育児、介護の負担が大きい」こと、男性は「仕事の責任が大きい、仕事できて当たり前と思われる」ことが挙げられていました。そして、これらの問題をどうすればよいかという質問には男女とも「固定概念にとらわれず、性別に左右されない生き方をする」という回答が最多でした。

高嶋さんはこの結果について「言うのは簡単だけれど、日本ではなかなか難しい。解決策としては法整備が必要」とおっしゃっていました。

つい最近日本では、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が成立し、またニュージーランドでは女性の首相が出産し産休を取得するなどの明るいニュースもあると、ご紹介下さいました。これらは身近には感じにくい話題で

すが、政府や自治体に自分たちの暮らしや働き方を良い方向に向かわせるような声を届けること、それができる議員さんを投票という形で選ぶことなど、固定概念にとらわれない生き方ができる社会をつくるために、私たちにもできそうな法整備につながる身近な行動のご提案があり、なるほどと思いました。

もうひとつは、次々に繰り出される、納得のフレーズの数々です。

冒頭から「女性活躍というが、家事も育児も介護も立派な仕事」という言葉でいきなり引き込まれ、「出る杭は打たれるが、出過ぎた杭は打たれない」「家事は技術。愛のバロメーターではない」「お金の管理も家事も脳トレ」等、励まされる心地よい言葉をたくさんいただいたように思います。

また、「これからは AI が活躍し、黙っていても仕事を奪われる時代になる。自分を守るために、人と分かり合う・助け合うためのコミュニケーション能力が重要。仕事・家庭・地域の中で、お互い声を掛け合いましょう」とのこと。仕事と生活のバランス、という範囲にとどまらず、子育てや地域の中で生活していく上でも、人とのつながりやコミュニケーションを大切にしていきたいと思いました。

高嶋さんの豊富なご経験と明るいお人柄がぎゅっと詰まった、とても内容の濃い講演会でした。

(編集委員：A)

最近のテレビ番組

「性別の垣根を超えた

真剣トキメキ・ラブコメディー

先日まで、深夜に放送された恋愛ドラマで、同性、異性にこだわらない一人の個性として愛を表現されている作品がありました。

職場の中での恋愛模様で、「上司と部下（同性）」「先輩と後輩（同性）」の恋心を甘く、切なく表現されていて、性別に関係なく人を真剣に愛する姿や、二人を取り巻く周囲の共感、理解の様子に感動しました。

その中でも個人的に、上司役の生き方に、心が熱くなりました。彼の社会的な立場等ある中で、表面化しづらい思いを大切に伝える方法として、自立した考え方で、周囲の人に対して深い愛情を持って接する姿に魅了された気がします。

恋愛ドラマ等、男女の関わりを表現する作品が主流な中に、様々な垣根を取り外し、人を愛する素晴らしさを大切に表現された番組だったように思います。（編集委員：T）

「男の子だってお姫様になれる！」

2004年から放送されている人気アニメシリーズがあります。そのアニメは、女の子が戦隊ヒーローのようになって悪者と戦うものです。このアニメの2018年6月10日に放送されたストーリーが注目を集めていました。



そのストーリーの中で、「自分に似合うものが好き。それが男性ものでも女性ものでも、自分に似合うから着るんだ」という考えを持ち、お姫様のようなドレスを見事に着こなす男の子が登場していました。その男の子は悪者に襲われ、主役の女の子に助けてもらいます。

悪者に襲われたお姫様（女の子）が、王子様（ヒーローである男の子）に助けられるという、お決まりのパターンとは反対の展開です。しかも、その時の女の子のセリフが、「男の子だってお姫様になれる！」だったので。

少し前までは男の子が女の子みたいだからかわれるような時代でした。今は子どものうちから、「男の子がお姫様にあこがれていても何もおかしくない」「女の子がヒーロー（英雄）で、男の子がお姫様ということもある」という新しい認識の時代なのですね。テレビ番組の内容に時代の変化を感じます。（編集委員：M）

＊ 図書紹介 ＊

『弟の夫』①～④

田亀源五郎 著 アクションコミックス 2015年～2017年 ㈱双葉社



ある日、弥一と夏奈、父娘二人暮らしの家にカナダからマイクという男性がやってきた。彼は弥一の亡くなった双子の弟、涼二の結婚相手だった。始まった3人での生活を通じて、主人公弥一が気づかされたものとは…。普通って？ 家族って？ 人間って？

ドラマ化もされたこの作品。性的少数者、人間の多様性について考えさせられるコミックです。

今後の男女共同参画セミナー（出前講座） ※申込不要。どなたでも参加できます。

	テーマ	講師	日時	会場
男女共同参画セミナー 出前講座	歴史から見える「女へん」の漢字	森田充代さん 古典文学研究家	9月13日(木) 10:00～11:30	別所町公民館
男女共同参画セミナー 出前講座	とも 男女に学ぼう防災	斉藤容子さん 関西学院大学 災害復興制度研究所 研究員	9月27日(木) 13:30～15:00	志染町公民館
男女共同参画セミナー 出前講座	笑い合える喜びを感じましょう！	てんご堂雅落さん 晰家	10月24日(水) 10:00～11:30	三木南交流センター

今後の男女共同参画セミナー ※申込要。定員先着8名。(8月20日から受付開始)

女性のための 働き方セミナー	介護離職を防ごう！	藤原寛子さん 社会保険労務士	9月29日(土) 13:30～15:00	三木市立教育センター
-------------------	-----------	-------------------	-------------------------	------------

三木市男女共同参画センター 愛称 “こらぼーよ”

三木市福井 1933-12
三木市立教育センター 3階
TEL&FAX : 0794-89-2331
開館日時：月曜～金曜 9時～17時
(※祝日を除く)

企画・編集：情報誌“こらぼーよ”編集グループ
発行：三木市男女共同参画センター



編集後記

夏号の編集会議の中で、テレビドラマの世界がだいぶ変わってきたという話題が多々出てきました。

さて、現実の生活では？例えば学校。三木市内の中学校では8校中「混合名簿」は3校のみだそうです。

子ども達には「固定概念にとらわれない生き方」をこの先選んでもらいたいものですが、男女別名簿採用の中学校に進んだ子ども達は、小学校とちがう名簿の並び方に、何を感じるのでしょうか？
(編集委員：A)